

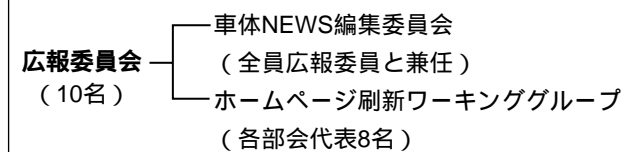
# 広報委員会

車体NEWS、ホームページなど  
広報関係を取り仕切る10人の委員会

## 1. 組織

古庄広報委員長以下、各部会代表、事務局で合計10名の小規模で運営している委員会。

最も業務の多い車体NEWS編集委員会は、全員同メンバーで兼務しており会議も一緒に実施している。ホームページの刷新のためのワーキンググループを昨年立ち上げ、そろそろ完成見込みであり、今後は引き続き60年史の制作ワーキングを立ち上げる予定である。



## 2. 活動内容

### (1) 車体NEWSの企画と校正

年4回プラス新春増刊号の5回の内容企画と記事依頼、校正確認が主要業務である。

定例の記事はいいが、特集をどうするか？が毎回の悩みである。しかしこれが楽しい悩みでもあり、知恵の出どころである。

また校正確認は大勢で分担した記事の文体統一等、日程の厳しい中、知恵よりも体力勝負の仕事である。編集のベテランが多く、言葉遣い一つで喧々譁々の議論伯仲することもあり、大いに勉強になる場でもある。



車体NEWS広報委員会

第3回目となりましたこのコーナーですが、今回は委員会紹介のトップバッターとして、この車体NEWSの編集も実施している広報委員会を紹介します。

### (2) ホームページ刷新・企画

当会ホームページは事務局だけで作り上げ、運営してきたが、正直なところ陳腐化しているのは事実であり、今年10月立ち上げをめどに全面刷新企画中である。

ワーキンググループ活動をしているが、ほぼ完成しつつあり、ぜひ皆様に成果を見ていただきたい。

### (3) 当会60年史の企画

当会は2008年に創立60周年を迎えるが、50周年時は50年史を発刊しており、60周年時も50～60年の10年間で主体に年史をまとめたく、現在準備中である。今後ワーキンググループを発足させ、企画していく。

### (4) 対外的広報活動の充実

当会活動の対外的PRとして、業界誌や業界新聞に当会情報を伝えたり、広告を出す活動だが、最近はこの活動を積極的に進め、マスコミでの当会活動が取り上げられる頻度も増えている。また広告予算も大幅に増やしつつある。

対外広報活動の一環として、当会の紹介パンフレットを見やすく、わかりやすく刷新する計画もこの広報委員会で進めており、12月に完成予定である。



年4回発行される車体NEWS。3カ月に1回開かれる広報委員会で内容が検討され、発行となる



10月に公開を予定している車体工業会HP。見やすくわかりやすくを念頭において刷新した。トップページに掲載される写真は車体NEWSとタイアップしていく予定

広報委員会 古庄 忠信 委員長に聞く (㈱イズミ車体製作所 代表取締役社長)

## 当会活動内容を正確に わかりやすく伝えたい

最近の広報を取り巻く環境について教えてください。

今、社会全体として広報活動の重要性がどんどん高まってきています。それは企業や各種団体の社会的責任として透明なコンプライアンス最優先の業務運営をし、その状況を積極的に情報公開していくことが求められてきているからです。

当会は公益法人ですから、一般企業以上にこの情報公開を充実させていく必要があり、我々の考え方や活動内容を自ら広く伝え、業界の関係者だけでなく広く社会一般の方にも理解していただくことが重要になってきています。

また一方でこれらの対外的広報だけでなく、当会の考え方や方向性を会員内部全体に浸透させることも広報活動の役割であり、当会活動内容のさまざまな変革を進めつつある現在、この対内部広報活動も重要になってきています。

広報委員会の主要課題、取り組み内容についてお聞かせください。

架装物リサイクル処理、CO<sub>2</sub>削減、VOC削減等の環境対応、不正改造の根絶等も含め、最近の当会の活動内容は大きく変化しているため、これらのきちんとした情報伝達が課題であると考えます。

特に不正改造に関しては、会員に対しての徹底は十

分出来ていますが、まだ非会員架装メーカーやユーザー、整備業者さん等への啓発活動が残っており、現在、業界新聞や業界誌にも協力をいただき進めています。

具体的には「不正改造 見たら 聞いたら110番」というキャンペーンで、社会全体の目で不正改造を監視していることをPRし、会員以外での抑止効果を狙っています。

また広報活動の柱の一つであるホームページの充実刷新は、今年の重点課題でありましたが、大勢の方々のご協力で何とかまとまりつつあります。しかしこれは作成だけでなく、日々のメンテナンスを充実させ新鮮な情報を送り続けることも重要であり、継続的に活動していきたいと考えています。

委員長個人としての、会社の内容や広報についての意見をお聞かせください。

私の会社では社内報を毎月発行しており、累計218号になりますが、特長は社員達が通常業務と兼務で手作りで制作していることです。

これによって、身近な親近感のある誌面となっていると思っています。私自身も毎月その月の課題や思っていることを苦労しながら書いておりますが、社内の意思統一の面では、大変有効であり、今後ともずっと継続していきたいと思っています。

車体NEWSは会員の皆様に原稿作成していただくことが多くあり、お忙しい中恐縮ですが、ぜひともご理解いただき、今後ともご協力をお願いします。

## Profile

- ◆業務歴
  - 1966年 9月 ㈱イズミ車体製作所 入社
  - 1972年 11月 ㈱イズミ車体製作所 取締役就任
  - 1993年 12月 ㈱イズミ車体製作所 代表取締役社長  
(1995年 12月 株式会社に変更)
- ◆車工会歴
  - 2004年 5月 理事 就任
  - 2005年 5月 特種部会長 就任
- ◆趣味・嗜好
  - 読書(愛読書は月刊「致知」、氷川清話「勝海舟自伝」)
  - お酒は「フランス産赤ワイン」
- ◆人物寸評
  - 威圧感のある強面の風貌から想像もつかない優しさや信念を持っている九州男児。当会の会議でも他人の意見をじっくり聞いてから、ずばっと鋭いご自分の意見を発言されているが、他人への細やかな配慮も決して忘れない方である。

